

# 外国語科学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校

教諭 〇〇 〇〇

- 1 日時・学年・学級 平成28年11月〇日 (〇) 3年〇組  
 2 単元名 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3  
 Program 7 What Is the Most Important Thing to You?

## 3 単元について

### 単元観

本単元は、国際協力師として発展途上国開発のためにボランティア活動をしている山本敏晴さんの活動について書かれている。「宇宙船地球号」と呼ばれるその活動の一つである「お絵描きイベント」を紹介した英文を通して、山本敏晴さんや他の国の子供たちの考えに触れることができるとともに、題材の内容にかかわる、自身の考えを述べるのに適した内容となっている。このため、中学校学習指導要領解説外国語編の「書くこと」(ウ)「聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりすること。」に関連した活動を行うことが可能である。

したがって、本単元では、「読むこと」と「書くこと」の統合的な活動を位置付けるとともに、まとまりのある英文を読んで、それに対する自身の考えを、理由を示しながら書くことができる力を養う。

## 4 単元の目標と評価規準 (※能力に関する記述のみとしている)

〔目標〕 ○ まとまりのある英文を読んで、理由を示しながら自身の考えを書く。

→ 「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標との関連 **書くこと①**

〔評価規準〕 ○ まとまりのある英文を読んで、理由を示しながら自身の考えを書くことができる。

※ 本単元では、「読むこと」と「書くこと」の統合的な活動を位置付けるが、目標は理由を示しながら自身の考えを書くことなので、「書くこと」に焦点を当てて評価する。

※ 「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標【3学年終了時】

外国語表現の能力		外国語理解の能力	
話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと
やりとり ①聞いたり読んだりしたことについて、内容を確認しあうためにつなぎ言葉を使って質問したり、考えや意見を伝え合ったりすることができる。	①読んだり聞いたりしたことについて、概要や要点をまとめたり、理由を明確にしなが、意見や賛否を書くことができる。	①自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ることができる。	①物語や説明文など、内容的にまとまりのある英文を読み、分からない語などがあっても、あらすじや要点を捉えることができる。
発表 ②様々なテーマについて根拠を述べながら、自身の考えを伝えることができる。	②身近な出来事や体験したことについて、事実や自分の考え、主張などを、読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことができる	②物語や機内アナウンスなど、内容的にまとまりのある話を聞いて、その概要や要点などの必要な情報を聞き取り、適切に応じることができる	②物語や説明文など、話の内容や書き手の意見に対して、感想や賛否とその理由を示せるよう読むことができる

## 5 指導と評価の計画

時	ねらい	評価方法
1	○ 本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 ○ 理由を示しながら自身の考えを書くための表現や構成のしかたなどについて知る。	
2	○ 本文の内容に関連した導入発問に対して、理由を示しながら自身の考えを書く。	
3	○ 教科書本文の内容を読み、(Part. 1~Part. 3)、理由を示しながら、自身の考えを書く。	
4 【本時】	○ 教科書本文(Part. 1)の内容を推測しながら読み、理由を示しながら、自身の考えを書く。	
5	○ 教科書本文(Part. 2)の内容を推測しながら読み、理由を示しながら、自身の考えを書く。	
6	○ 教科書本文(Part. 3)の内容を推測しながら読み、理由を示しながら、自身の考えを書く。	

7	○ 別の文章の内容を読み、理由を示しながら自身の考えを書く。	
後日	○ 別のまとまった英文を読み、理由を示しながら、自身の考えをワークシートに書く。	作文チェック

※ すべての時間においてベルトアクティビティ（帯活動）を行い、理由を示しながら自身の考えを話す言語活動を行う。

※ 本單元において新出の、関係代名詞（who, which, that）の文構造の扱いに関することは、能力に関する単元の目標達成に向けた、中心的な活動ではないため、省略する。

※ 評価については、ここでは指導に生かすための評価（形成的評価）は示しておらず、外国語表現の能力の観点の評定につながる評価（総括的評価）に係るもののみを示している。

## 6 本時の指導過程と評価

	学習活動	○指導上の留意点・支援	評価規準 (評価方法)
導 入	1 挨拶 (帯活動) 2 1minute talking Q&A 3 Today's teacher Q&A 4 歌 5 チャンツ 6 New Word List 7 本時のめあての確認	○ あらかじめ学習した、理由を示しながら自身の考えを話すための表現を意識するよう呼びかける。 ○ 音の連結や脱落など、発音の際に気を付けることを再確認する。 ○ 生徒が集中して活動に取り組めるよう、時間を決めてスピーディーに進め、メリハリをつける。	
	山本敏晴さんに対する自身の考えを、理由も示しながら表現しよう		
展 開	8 教科書本文(Part. 1)の読み取り (1) 復習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回の読み取りから、山本敏晴さんについて覚えていることをペアで交流する。</li> <li>・ 教師による事実発問Q&amp;A</li> </ul> (2) 教師による推論発問Q&A 9 山本敏晴さんの取組に対する自身の考えを述べる (1) 推論発問に答えることを通して理解したことを含め、山本敏晴さんの取組に対する自身の考えを書き、グループで交流し、一番良いと思われるものを選ぶ。 (2) 数人分を紹介する。	○ 交流は、間違いを恐れず、単語レベルでも良いので、英語で行うよう伝える。 ○ 事実発問は前時に行っているもので、英問英答でテンポよく行う ○ 推論発問に対する自分なりの考えを述べる際に、自分がそのように考える理由を合わせて述べるように伝える。 ○ 理由は、教科書本文やページ内の絵図などから探すように伝える。 ○ 理由を示しながら自身の考えを話すための表現を参考にするように伝える。 ○ 書くときに分からない表現は、辞書等を活用してもよいことを伝える。	
ま と め	10 本時の振り返り <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 振り返り表に、目標が達成できたか記入する。</li> </ul>		